



行徳鳥獣保護区内の湿地に
やってきたコチドリたち

■ 春のイベント 予定

丸浜川&みどりの国クイズ&ウォークラリー

5月3日(土・祝)
～6日(火・祝)
ゴールデンウィーク

生きもの探し&クイズを解きながら、
丸浜川～みどりの国を探検しよう！
あいねすとで答え合わせ&参加賞Get！



野鳥のヒナを守るためにできることクイズ

5月10日(土)
～18日(日)
愛鳥週間

館内の展示から、野鳥のヒナを守る
ヒントを探してクイズに答えよう！
野鳥のヒナを守る人になろう！



トビハゼをさがせ！

6月14日(土)
トビハゼの日

館内に隠れている7匹のトビハゼを
探して、トビハゼからのメッセージを
解読しよう！



■ 土曜日は、あいねすとの自然散策会

※ベビーカーや車いすの方も参加できます。

あいねすとの前を流れる丸浜川沿いの道を、生きものを観察しながらゆったり散策します。

鳥だけでなく、植物、昆虫、カニやトカゲ、キノコなど、さまざまな生きものがあります。見る、聞く、かぐ、触れるなど五感を使って自然の不思議を発見しましょう。歩きやすい靴、帽子、水筒は必ずご用意ください。あいねすと周辺に飲料の自動販売機はありません。

時 間 午後1時30分から1時間程度
受付開始 開始時間の30分前から
各日先着10名 双眼鏡貸出あり

4月 5日、12日、19日、26日
5月 10日、17日、24日
6月 7日、21日、28日
(雨天時は中止)



気温の上昇とともに、小さな昆虫たちが活発になります。タンポポの花の上にいるのは、ヤブキリというキリギリスの仲間の幼虫。花粉を食べています。やがて成虫になると、他の昆虫などを捕まえて食べる肉食に変わります。

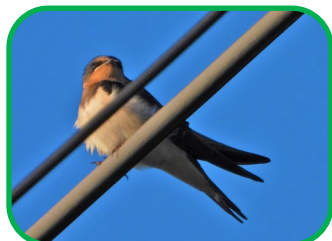


公式
Web サイト
あいねすと
行事案内

※イベントの予定は、諸事情により変更になる場合があります。上記のQRコードから行事案内をお確かめの上、ご来館ください。

■ あいねすとから見られる春～初夏の鳥

鳥たちの繁殖シーズンです。丸浜川沿いの巣箱にはシジュウカラが、街中の電柱の付属物などではスズメが、丸浜川ではカルガモが、巣作りと子育てをします。求愛やなわばり宣言のための高らかなさえずりもそこここで聞かれます。干潟には、少数ながら渡りの途中（旅鳥）のチュウシャクシギなどが羽を休めています。サクラの花に吸蜜に来るメジロのかわいらしさも見逃せません。



夏鳥ツバメがやってきて子育てをします。巣立ちビナも見られます(3月～)



干潟でカニなどをさがす旅鳥チュウシャクシギ(4月半ば～5月)



母鳥のおなかの下にもぐるカルガモのヒナたち(5月ごろ)

あいねすとから見られる春～初夏の鳥

カルガモ	オナガ
カワウ	ハシボソガラス
キジバト	ハシブトガラス
アオサギ	シジュウカラ
ダイサギ	ツバメ
コサギ	ヒヨドリ
ヒクイナ	メジロ
コチドリ	オオヨシキリ
チュウシャクシギ	セッカ
アオアシシギ	ムクドリ
キアシシギ	キビタキ
コアジサシ	スズメ
トビ	カワラヒワ
カワセミ	ほか
コゲラ	

(鳥名は日本鳥類目録順)

■ あいねすと周辺の花と草木 ナワシログミ(苗代菜萁)



稲の苗代を作る4月ごろに真っ赤に熟するのでこの名がつけました。海岸の林の中の環境を好みます。行徳近郊緑地では、オナガなど果物好きの鳥たちが食べては種を落として増えている植物のひとつです。赤い液果は人が食べても甘いのですが、そこは野生の木の实のこと、強烈に渋いものもあるので、ご用心！

■ 干潟の生きものをあいねすとから観察しよう！

「潮見表」をネットで検索して、東京湾・市川近辺の引き潮の時間帯を調べてみましょう。「潮干狩りに良い日」となっていたら、あいねすとから干潟の生きものを観察するチャンスです。6月14日(土)は「トビハゼの日」の行事を予定しています(表面参照)。



■ あいねすとカフェ

営業時間 午前9時～午後4時45分
花々や緑の草の香りが満ちる季節です。ベンチでさわやかな風に吹かれながら飲み物とお菓子でひとやすみ。
※中2階と2階では、飲みものみとさせていただきます。また、食べ物の持ち込みはご遠慮ください。



■ あいねすとへのアクセス

最寄り駅は、東京メトロ東西線・有楽線の行徳駅または南行徳駅です。駅からは徒歩またはバスをご利用いただけます。また、JR本八幡駅南口からもバスが出ています。車でお越しの際は無料駐車場がございますが、収容台数が少ないので公共交通機関のご利用をお願いいたします。



あいねすとの詳しい情報は
右のQRコードからご覧いただけます。

